



炬火を掲げていざ謳う

No.31



我々の泉鳥取

2023年1月10日(火)

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府阪南市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

最初で最後の海外修学旅行

ヴェトナム ダナン地方(43期生)



泉鳥取高等学校は、平成29(2017)年からイングリッシュ・カフェを設置するなど、国際化に力を入れていました。英語のコミュニケーション能力向上の仕上げとして、平成30(2018)年、海外修学旅行を企画しました。行き先は、同じアジアの地であるヴェトナムを訪問することになりました。当時のPTA新聞「つばさ」の原稿から若干修正して掲載します。

平成30(2017)9月4～8日、ベトナムのダナンへ、3泊5日の修学旅行に行ってきました。1日目は海外の空港での乗り換えを経験し、目的地であるダナン空港へ到着。レストランで夕食をとり、ホテルへ。初めての本場ベトナム料理、戸惑いの声も多く聞こえましたが、それも経験!!と言いながら、パクチーをよける私…

2日目は現地のFPT高校と学校交流、各校パフォーマンスを行い、ベトナムの遊びを通じて交流しました。その後、世界遺産の街であるホイアンでFPT高校の生徒のガイドの下、B&Sプログラム(班別で散策)を行いました。その後、ショッピングモールで買い物を楽しんだ後は、夜のホイアンに訪れ、ランタンの灯った美しい道を散策しました。慣れない言葉や通貨、土地を楽しそうに過ごしていました。

3日目の午前は、マリンスポーツやかご舟体験、ランタン作り等それぞれが選択した体験を行いました。午後はプライベートビーチでビーチレクリエーション。各クラス対抗でビーチフラッグや騎馬戦、借り物の競争等を行い、3組が優勝しました。この日は、ホテル敷地内での自由時間が長く、友達との部屋へ遊びに行ったり、プールで遊んだり大きく羽を伸ばしていました。

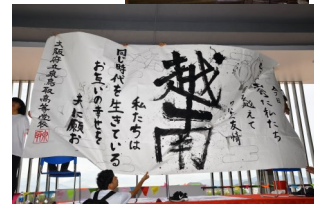
4日目は朝から世界遺産であるミーソン遺跡を訪れました。その

後、再びマーケットで買い物した後、飛行機に乗り、翌朝関西空港に無事帰国しました。

食事や文化の違い等、慣れないところもありましたが、ジェスチャーや知っている英語を駆使して必死にコミュニケーションをとり、日本円からベトナムドンへの両替まで出来るようになっていました。

生徒の修学旅行の感想からは、「食文化の違いへの戸惑い」が多かったですが、それ以上に「もっと海外を見てみたい。」「日本では見れないものがたくさんあった」と生徒の成長を感じれる感想も多々ありました。

日本の良さを改めて実感しながら、「海外の人々の暮らし」というグローバルな視点を肌で感じとり、大きく成長した修学旅行だったと思います(文:田畑貴史)。



次の44期生も続いてヴェトナムへの修学旅行を企画していましたが、新型コロナのまん延で断念を余儀なくされました。結局最初で最後の海外修学旅行となりました。